

アブラナ科 イヌガラシ属

# コイヌガラシ (小犬芥子)

*Rorippa cantoniensis* (Lour.) Ohwi

の位置  
千葉県

千葉県

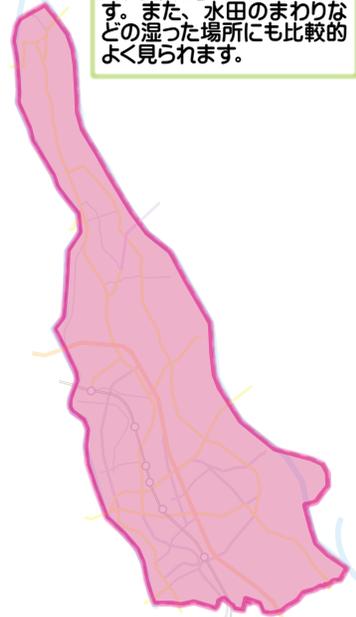


環境省



## 市内の分布状況

河川敷に多く生えています。また、水田のまわりなどの湿った場所にも比較的好く見られます。



### 自生環境

湿地、水辺、河川敷 など

### 原産地

日本在来

### 生育を脅かす要因



河川改修や護岸整備、湿地の埋め立てなどによる環境悪化の影響を受けやすい植物です。また、背の高い外来植物が繁茂すると、競争に負けて姿を消してしまいます。

## 特徴

- ☆ 関東地方より西の地域に分布し、河川周辺の湿った場所に多く見られる 1~越年草です。同じ場所にずっと生えるというわけではなく、神出鬼没な草です。発生には、洪水や天地返しなどで表土が削られる「かく乱」が重要な役割を果たしています。
- ☆ 草丈は環境に応じて、数 cm ~ 数十 cm と大きく変化します。葉の長さは 3cm ほどでギザギザと細かく切れ込みます。
- ☆ 主な花期は春ですが、それ以外の季節でも花を見ることがあります。花は黄色で葉のわきに 1 個ずつ咲きます。果実は棒状で、やはり葉のわきに 1 本ずつつきます。同じ仲間のイヌガラシヤスカシタゴボウに似ていますが、花や果実のつきかたから見分けることができます。

## 野田市では多いけど...

コイヌガラシは氾濫原や減水裸地（水位が下がると土がむき出しになるような場所）を、主な生育環境としています。このような環境が広がる利根川流域にはたくさん生えていて、野田市でも水辺を歩いていると、準絶滅危惧であることを忘れてしまうほどです。しかし護岸整備や除草剤散布など、わたしたち人間の影響で、全国的に減少傾向にあります。野田市も例外ではありません。



花びらは黄色で 4 枚

ギザギザした葉をつける



果実は葉のわきに 1 本ずつつく



タネが熟すころ、茎や果実がきれいに赤く色づくことも多い



冬の間は、地面に葉がべったりはりつく



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

